

かわたな民報

第161号
2018年11月

日本共産党川棚支部
町議会議員 久保田かずえ
電話(833)23998
日本共産党川棚支部の見解を紹介します。



日本共産党の
しん赤旗
ぶんぶん
●毎日配達の日刊紙 月3,497円
●毎週配達の日曜版 月823円

本音がわかる 明日がみえる
原発、憲法、消費税、雇用、TPP...「本当のこと
が知りたい」 その思いにこたえる新聞です。
くらしに役立つ情報も満載です。

2018年9月議会において、日本共産党久保田かずえ町議は、医療費助成制度、通学路そばの民有地の管理、東白石に流れる後田川の整備について一般質問をおこないました。

医療費助成は高校卒業まで お金の心配なく医療が受けられる制度を

久保田かずえ町議

本町では、乳幼児医療費助成制度に加えて、平成28年4月から子ども医療費助成制度が始まり、中学校卒業までの子どもに拡充されました。

しかし、全国的には高校卒業まで拡大している自治体も増えていきます。また、乳幼児の医療費が現物給付に対して、子ども医療費助成は償還払いのままです。



久保田かずえ町議

日本共産党川棚支部
町議会議員 久保田かずえ
電話(833)23998
日本共産党川棚支部の見解を紹介します。



日本共産党の
しん赤旗
ぶんぶん
●毎日配達の日刊紙 月3,497円
●毎週配達の日曜版 月823円

本音がわかる 明日がみえる
原発、憲法、消費税、雇用、TPP...「本当のこと
が知りたい」 その思いにこたえる新聞です。
くらしに役立つ情報も満載です。

医療費助成制度を高校卒業まで拡大する考えはありませんか。

町長

中学校卒業までの拡充による子ども医療費の支給実績は、大きな財政負担となっている。

今後、慎重に見極めるとともに、近隣市町と歩調を合わせる事も必要であり、現時点での高校卒業までの拡大は考えていない。

久保田かずえ町議

厚生労働省の調査によると、高校卒業まで助成する自治体は3割を占めて、拡大する自治体が増えていきます。

町長

全国的に見れば、まだまだ3割だと認識している。財政状況をしっかり把握しながらどこまで対応できるか今後研究していきたい。

久保田かずえ町議

中学校卒業までとした根拠は、財政が厳しいだけでしょうか。

町長

県下の状況と、義務教育機関と言う事。子育て支援については今後力を入れていかなければならない。

財政負担を十分考えながら対応していく。

久保田かずえ町議

親にとって教育費はすごく負担になると思います。18歳の高校卒業までは子どもの期間だと思います。拡大する考えはありませんか。

町長

今後、そういったことは必要と認識しているので、県内の状況等、そしてこれからの財政状況を考えながら進めていく。



久保田かずえ町議

次に償還払いの現物給付化について尋ねます。

子どもたちの場合の窓口負担は三割です。証書だけを持って行けば心配なく掛かれる制度にすべきだと思います。

平成23年度に現物給付になった時に医療費が増えています。これは何を意味すると思われませんか。

町長

受診者が増えたことにより医療費が増えたものと思う。

久保田かずえ町議

償還払いが現物給付になっただけで受診者が増えるわけはありません。また、現物給付になったからと言って、忙しいお母さんたちが、必要のない医療を受けに行くとは考えられません。

償還払いの手続きが大変だから申請しなかったのだあってこれが正常な形だと思います。

子どもの貧困率はまだまだ改善されていません。現物給付に向けて努力する考えはありませんか。

町長

子育て支援については、今後拡充していかねければならないと考えている。

庁舎建設を控えており、経常経費を増やしていくと将来大変なことになる。

久保田かずえ町議

庁舎建設と子どもの命を比べられるのは心外です。健康な子どもたちを育てる意味でも基本になるべきものと思います。

子ども達に 安全安心な通学路を

久保田かずえ町議

子どもたちが安全で安心して通えるべき通学路が、民有地からはみ出した雑草等で通学の妨げとなつています。

子どもたちが快適に学校に通えるように、民有地に対する管理・指導に取り組む考えはありませんか。

教育長

川棚町通学路交通安全プログラムを平成27年8月に策定し、基本的に2年に一回合同点検を実施している。平成30年度中に2回目を実施する予定である。その結果が出次第、対策を協議し、具体的な対応を行う事になると考えている。

しかし、民有地を行政が管理することは難しいので適正な管理についてはお願いをしていく必要がある。

久保田かずえ町議

子どもたちの通学路を歩いて見られましたでしょうか。

教育長

通学路を実際に歩いてはいるが、立哨活動等の折には近隣の通学路は自分の目で確認している。

久保田かずえ町議

川棚高校周辺は、小中学生と高校生が利用し、さらに自転車を利用する生徒もいます。瀬道線の歩道には民有地から雑草がはみ出してきて、春と秋の一斉清掃が待てないくらい伸び放題に伸びています。雑草が道路側にはみ出した分、子どもたちは歩道からはみ出してしまい危険です。

2年に一回ではなく、子どもたちの命を守るために期間を短くして随時点検していただけないでしょうか。



元気いっぱい登校する子ども達

教育長

教育委員会としても、各小中学校のPTA組織を活かして対策を練っていききたい。

久保田かずえ町議

子どもたちが快適に学校に通えるように、点検して改善していただきたい。

早急な河川整備で防災を

久保田かずえ町議

七月五日から八日にかけて降り続いた西日本豪雨では、本町でも町内全域に避難勧告が発令され、七〇人以上の方たちが避難されました。農地や農業施設、林道等にも大きな被害が出ました。

当日、後田川は雨量のピーク時にはあふれる寸前まで水嵩が増え、満潮と重なれば氾濫する可能性もありました。付近には、住宅、水田、アスパラガスのハウス等もあり氾濫すれば、大きな被害が考えられます。また、川に隣接する道路を利用する人や車も多く、危険です。災害になる前に、川の中の雑草、

消費税増税やめさせよう！

安倍首相は、来年10月から消費税を10%に増税すると言っています。今でさえ、深刻な消費不況が続く、「賃金が減っている」「年金が減ったのに、医療も介護も負担が重すぎる」など、国民からは悲鳴が上がっています。

所得の少ない人ほど負担が重い消費税増税ではなく、巨額の富を蓄えている大富豪や大企業に応分の負担を求める税制に見直すべきではないでしょうか。

どうぞ、消費税10%増税の中止を求める請願署名にご協力をお願いします。

署名用紙が必要な方は、久保田かずえ議員へお問い合わせください。



雑木の整備をする考えはありませんか。

町長

同様の要望書が東白石地区から出されており、近年では平成二九年七月に一部竹木の伐採を行った。地元からはその後も、引き続き整備をしていただくよう要望書が出ている。

現地を調査したところ尾山橋から上流側において一部河川の流水を阻害している箇所があるので雑木等の伐採を実施して、河川の流水の機能を確保していきたい。後田川はホタルの生息地でもあるので、ホタルの生息

に大きな支障のないように配慮しながら対応していきたい。

久保田かずえ町議

今の状況ではまたいつどのような雨の降り方をするか分かりませんので早い時期に実施してもらいたいと思います。

建設課長

現在、河川管理の予算の中では委託料が計上されていないので、予算の範囲内での費用から流用してでも早急に対応していきたい。今後、財政とも協議しながら進めていきたい。